教育目標（すすんで学び　思いやりのある　たくましい子ども）

坂東太郎

伊勢崎市立坂東小学校 学校通信　令和２年１１月２０日（金）第１３号　文責：校長 内藤

6年生 校外学習 11/11
「群馬の世界遺産・人類の歴史を探る旅」
（富岡市）県立自然史博物館～富岡製糸場
～（高崎市）かみつけの里博物館～県立土屋文明記念文学館

恐竜がお出迎え

ガイドさんが熱心に説明してくれました

古墳からの見晴らし抜群！

古墳のすぐそばに土屋文明記念文学館

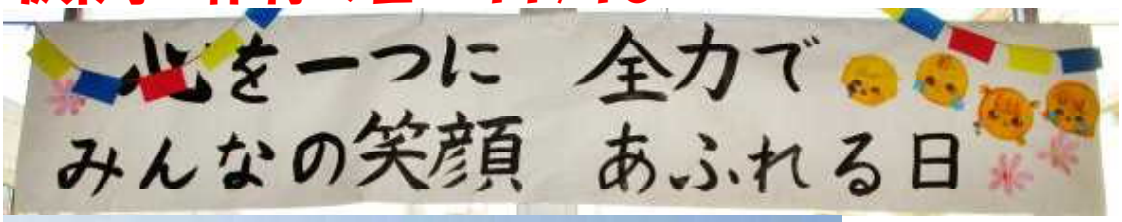
６年生がバスに乗って校外学習に出かけてきました。

今年度はコロナウィルス感染症のため、鎌倉・東京方面への修学旅行も東毛青少年自然の家でのチャレンジスクールも中止となり、全員でバスに乗って出かける唯一の行事でした。

富岡市の自然史博物館では、迫力ある恐竜や骨格標本に目をみはり、富岡製糸場では世界遺産の歴史にふれました。高崎市に移動して、広大な敷地に再現された古墳からの眺めに感動して、古代人の生活に思いをめぐらせました。文学館では、土屋文明の書斎にあったカステラを見て歌人に親しみを感じました。

少し忙しい行程だったのでもっとゆっくり見たいと思った子供もいたと思います。興味を持った場所を今度は、家族で再訪してみるのもよいかと思います。

坂東小・体育の日　11/18



「坂東小体育の日」が当初開催予定より、ひと月以上遅れてようやく開催できました。季節外れの運動会（体育の日）で、寒さを心配しましたが、すばらしい好天に恵まれて、爽やかな秋の青空の下、久しぶりに全校児童が校庭に集って、運動に親しむ半日を過ごしました。各演技・競技に取り組む元気な子供たちの姿からたくさんの力をもらった気がしました。

全学年、直線コースで走った徒競走

1・2年　玉入れ

3・4年　障害走

5・6年　綱引き

応援合戦　妙義団

榛名団

赤城団

団対抗　3・4年リレー

5・6年リレー

児童代表の言葉（一部省略）

私たちは今年、今までに経験したことのない毎日を送ってきました。２ヶ月間の休校期間。「いつになったら学校へ行けるのか。」「友達に会いたいな。」「学校の行事はどうなるのかな。」など不安な気持ちでした。ようやく学校に来られるようになり、「うれしい。遅れた分、がんばろう。」と思った矢先、群馬の感染者数が増え、「学校が、また休校になるのではないか」と不安な気持ちになりました。臨海学校や修学旅行、水泳や陸上記録会が中止になり、私たちは何を目標にがんばればよいのか、よく分からなくなっていました。そんな中、今日の「坂東小・体育の日」ができると聞き、とてもうれしい気持ちになりました。

金管ガーズが行うマーチング。３密を避け、休校中は個人練習だけ。みんなと一緒に合同練習できた時間はとても短く感じました。大声を上げることができない応援。でも「声を出す代わりに、楽器やポンポンを使ったら盛り上がるんじゃない？」「全校のみんなで団の旗を作ろう！」とみんなで知恵を出し合い、話し合った時間はとても楽しかったです。その成果を今日お見せしたいと思います。

１年生にとっては、みんなと一緒に行う初めての行事です。２年生も３年生も、４、５、６年生もみんなが楽しみにしていた今日です。みんなが考えたスローガンのとおり『心を一つに全力で、みんなの笑顔あふれる日』になるようにみんなと一緒にがんばります。